

よかかせ

2025年（令和7年）

3月号 No.46

発行：中間市人権男女共同参画課

人権センターだより

ユニバーサルデザインのくふう

底井野小学校3年 ながつ ひまりさん

わたしは、そう合の時間に福しの意味を調べました。福しとは「多くの人々の幸せ。幸福。」という意味でした。とくに、ユニバーサルデザインについてくわしく調べました。ユニバーサルデザインとは、体の不自由な人もそうでない人も、外国の人も子どもも、すべての人が利用しやすいように考えてデザインすることです。ユニバーサルデザインの中で、とくにすごいなと思ったものを三つしようかします。

まず、体が不自由な人でもこうかを入れやすいように入れ口を大きくした自動はんばい機があります。また、子どもや車イスの人でも上のだんの飲み物を買うように、ひくい位ちにボタンをせっちしています。車いすの人にみんなとちがってせが低いからボタンがとどかないからひくいちにボタンがあるとはじめてしりました。

次に、こうかは、見えなくてもさわってくべつができるように、それぞれ大きさがちがったり、穴が開いていたりします。お礼もそれぞれ大きさがちがいで、指でさわって分かるように、左右両方に印がつけられていたりします。こうかには中があいていたり大きさがちがったりするけどお礼も大きさをさわるとあいがちがうとはじめてしりました。

さらに、せがひくい子どもや高れい者の人でも使いやすいように手すりが、二段になっていたり握りやすいように波型になっていたりします。こうれい者と子どもは、せがちがうから二段になっていると子どもも手すりを持って、こうれい者も持て、こうれい者はかいだんでこけたらあぶないし、子どももこけるとあぶないから、手すりが、こうれい者ようと子どもも二段あるからどっちとも手すりをもて安心できるからいいなと思いました。

このように、ユニバーサルデザインは体の不自由な人も外国の人も子どもも、みんなが利ようしやさいようにくふうされています。目が不自由な人もみんな安心して使えているいろいろなくふうがあるユニバーサルデザインを見てみたいです。

【私たちが感じた人権 令和5年度小中学校人権作文より】



☆なやみごと相談☆

なやみごとや困りごとについて、人権擁護委員（中間市在住）が無料でご相談を受けます。

秘密は厳守されますので気軽にご相談ください。

（予約不要）

・3/12(水)・4/9(水)・5/14(水)・6/11(水)
13:30~15:30

問合先) 中間市人権センター

相談



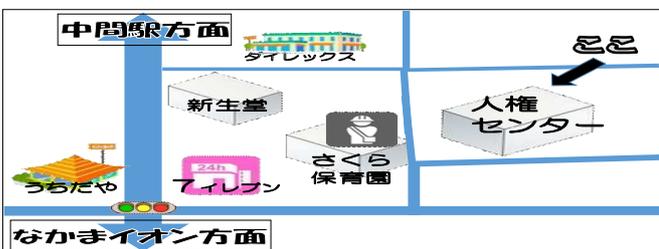
◇「女性のための無料就職相談」◇

就職活動中・そろそろ働きたいと思っている女性の方を応援します。 **※2日前までに予約が必要です。**

・3/13(木)・4/10(木)・5/8(木)・6/12(木)
10:00~12:00

予約問合先) 福岡県ママと女性の就業支援センター
093-533-6637

相談場所) 中間市人権センター



中間市人権センター（ピンクの建物が目印です！！）
住所：中間市岩瀬一丁目17-1

☎093-245-3511

中間市人権問題講演会を開催しました！

令和6年12月6日、なかまハーモニーホール（小ホール）にて、「人権啓発・男女共同参画川柳表彰式」と「人権問題講演会」を開催しました。

〔川柳表彰式〕

講演会の前に、「人権啓発・男女共同参画川柳表彰式」を行いました。人権啓発部門と男女共同参画部門から入選された5名の方が、福田市長より表彰状を授与されました。



〔人権問題講演会〕

講師に大庭正美さんを招いて、「人権問題の〈根っこ〉について考える～誰もが認められ、誰かにつながっているまちを！～」の演題で、お話しをしていただきました。誰もが認め誰かにつながる温かいステキな“まち”にしたいと思った方が、多かったのではないのでしょうか？



「ひまわりの花」感謝状贈呈式

10月28日、「人権の花」運動に協力して、ひまわりを育ててくれた中間北小学校3年生のみなさんに、人権擁護委員から感謝状と記念品が贈呈されました。

「人権の花」運動は、みんなで助け合い、心を込めて花を育てることで、生命の大切さを学び、感謝する心を育むことを目的としたものです。

来年は、中間小学校の3年生にひまわりの「たね」が引き継がれます。



人権擁護委員より感謝状が贈呈されました。

人KENまもる君・あゆみちゃんとも楽しく交流しました。



「人権センター」へ学びにきました！

市内6小学校の3年生たちは、毎年、「人権センター見学」をしています。これは、子どもたちが、自分と周りの人の人権を守り、守られるように考えることと、人権センターが行っている人権に関わる啓発活動や事業、相談業務などを知ってもらうことを目的に行われています。



具体的には、館内のバリアフリーについて説明しながら子どもたちと探検し、人権センターの取り組みを学んでいます。探検と話を聞いたあとの子どもたちからの質問にも、受け答えをしています。子どもたちが学校に戻って書いた感想文を、クラスごとに模造紙に貼った素敵な作品にして送って来ていますので、人権センターに掲示しています。

